



2026年8月10日

各位

会社名 シ ュ ッ ピ ン 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 CEO 齋藤 仁志
(コード番号: 3179 東証プライム)
問合せ先 上席執行役員 CFO 園 大典
(TEL. 03-3342-2944)

会社提案としての社外取締役候補者の決定および 株主提案の取下げに関するお知らせ

当社は、2026年7月9日付で当社の株主であるTAKUMI CAPITAL MANAGEMENT MASTER FUND LP（以下「提案株主」といいます。）より受領いたしました臨時株主総会の招集請求（以下「本株主提案」といいます。）に関し、2026年8月7日開催の取締役会において、本株主提案にて社外取締役候補者として提案されている泉智之氏および西村裕二氏の2名につきまして、当社の社外取締役候補者として会社提案議案にて上程することを決議いたしました。また、これに伴い、提案株主との間で本株主提案を取下げの旨の合意に至りましたので、あわせてお知らせいたします。

なお、本株主提案の取下げに伴い、当社は別途、両氏の選任を目的とした臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）を開催する予定です。

記

1. 本株主提案の候補者を会社提案として上程する理由および評価プロセス

当社は、本株主提案を受領後、独立社外取締役が委員長を務める指名報酬委員会において、両氏の当社社外取締役としての適格性について慎重に議論・評価を行いました。そのプロセスおよび推薦理由は以下のとおりです。

(1) 新経営体制への移行背景及び本上程の要旨

当社は、本年1月22日に開催された臨時株主総会における株主提案としての両氏の選任議案に対しては意見を表明しており、直近の本年6月25日に開催された定時株主総会においても両氏を取締役候補者として選任しておりませんでした。しかしながら、当社は今般、代表取締役の交代等を経て、監督と執行を明確に分離した新たな「モニタリング・ボード体制」へと経営体制を刷新いたしました。

この新たな経営体制のもと、次期中期経営計画の具体化を進める中で、当社の事業変革を力強く推し進めるためには、後記「(2) 経営課題と求めるスキルの定義」から「(4) 候補者の評価と推薦理由」に記載の客観的評価プロセスのとおり、当社の更なる成長戦略における「M&A戦略」の遂行や「グローバル展開」の加速が不可欠であり、現状の取締役会構成に留まらず、当該分野の高度な専門性を備えたプロフェッショナルを招聘することが、有効であるとの認識に至りました。さらに、本株主提案の受領後、両氏との直接面談の中で、改めて両氏が当社の短期的な利益ではなく、中長期的な企業価値向上に強くコミットする姿勢を確認することができました。

これらの状況の変化を踏まえ、指名報酬委員会において、客観的かつ実質的な観点から改めて議論を尽くした結果、現在の当社が直面する経営課題を克服するためには、両氏の有する卓抜した知見を当社の経営監督に直接取り入れることが最適であるとの結論に達し、両氏を会社提案の社外取締役候補者として決定いたしました。

(2) 経営課題と求めるスキルの定義

指名報酬委員会の社外取締役選定基準に基づき、当社の中期的な最優先経営課題を「事業戦略」と定義いたしました。その上で、当該経営課題に対し、社外取締役としての的確な助言・監督を行う上で重要となるマストスキルを「企業経営経験」「資本コスト経営」「M&A経験」「グローバル経験」と選定いたしました。

(3) 優先スキルの特定と充足度の評価

上記のマストスキルについて現在の取締役会構成における充足度を確認したところ、グローバル経験および資本コスト経営に該当する社外取締役は1名、M&A経験については2名にとどまる現状にあります。この現状を踏まえ、重要度および不足する知見を補う観点から、「グローバル経験」「資本コスト経営」「M&A経験」を、優先して補強すべき最重要マストスキルとして特定いたしました。

(4) 候補者の評価と推薦理由

両氏への候補者面談を通じ、上記の最重要マストスキルに対するそれぞれの実績・経験・知見を評価した結果、以下

の理由から両氏を会社提案の社外取締役候補者として選任することが当社の企業価値向上に資すると判断し、指名報酬委員会として推薦することといたしました。

・西村 裕二 氏の推薦理由

同氏は、当社の中期的な経営課題に基づき、指名報酬委員会で選定した社外取締役候補者に求める最重要スキルであるグローバル経験（アクセンチュアにおけるアジアパシフィック全域の統括本部長としての経験や、海外展開を含めた豊富なコンサルティング支援実績）、及びM&A経験（投資ファンドのマネジメントとして経営と投資判断に携わった経験や、M&Aを含めた数多くの企業戦略の立案・事業構造改革を手掛けた豊富なコンサルティング支援実績）に関し、幅広い実績・経験・知見を有しております。また、経営陣への監督・けん制の面からも、ガバナンス改善への貢献が期待できると判断いたしました。

・泉 智之 氏の推薦理由

同氏は、当社の中期的な経営課題に基づき、指名報酬委員会で選定した社外取締役候補者に求める最重要スキルであるグローバル経験（外資系コンサルティングファームや海外の運用会社におけるプロフェッショナルとしての活動経験）、資本コスト経営（独立系運用会社を設立し、ポートフォリオマネージャーとして日本企業へ長期投資を行ってきた機関投資家としてのキャリア・視点）、及びM&A経験（経営コンサルタントとして数多くの日本企業の変革をサポートしてきた実績や、投資先企業の財務面・戦略面からの分析経験）に関し、幅広い実績・経験・知見を有しております。また、経営陣への監督・けん制の面からも、ガバナンス改善への貢献が期待できると判断いたしました。

2. 提案株主からの株主提案の取下げについて

上記の通り、当社取締役会において両氏を会社提案による社外取締役候補者として本臨時株主総会に上程することを決定したことに伴い、提案株主と協議を行った結果、本日、提案株主より本株主提案（臨時株主総会の招集請求）を取り下げる旨の合意書を受領いたしました。これにより、本臨時株主総会におきましては、株主提案議案は上程されず、会社提案議案として両氏の選任について株主の皆様にお諮りすることとなります。

3. 新任社外取締役候補者の略歴

氏 名 (生年月日)	略 歴	所有する 当社株式数
にしむら ゆうじ 西 村 裕 二 (1963年11月 2 日生)	1986年 三菱レイヨン株式会社（現三菱ケミカル株式会社） 入社 1990年 アンダーセン・コンサルティング株式会社（現アクセンチュア株式会社） 入社 2013年 株式会社プロフュージョン創業 同社代表取締役（現任） 2013年 あすかコーポレートアドバイザー株式会社 取締役就任（現任） 2017年 株式会社ダイアート創業 同社代表取締役（現任）	11,900 株
いずみ ともゆき 泉 智 之 (1974年 1 月25日生)	1997年 アンダーセン・コンサルティング株式会社 （現アクセンチュア株式会社） 入社 2001年 株式会社ローランド・ベルガー入社 2004年 アクセンチュア株式会社入社 2008年 Equinox Partners, LLC入社 2014年 VIS Advisors, LP創業 同社Founder and Portfolio Manager（現任）	0 株

なお、両氏は株式会社東京証券取引所の定める独立役員の要件を満たしておりますが、本年7月31日に開示した当社のコーポレートガバナンス報告書に掲載された当社独自の「社外取締役の独立性に関する基準」（以下、「当社独自の独立性基準」といいます。）に抵触しており、本臨時株主総会において両氏の選任が承認可決された場合であっても、当社は両氏を独立役員として同取引所に届け出る予定はありません。

もっとも、当社の指名報酬委員会及び取締役会においては、両氏の有する高度な専門性及び独立した客観的な監督機能等に鑑み、当社独自の独立性基準への抵触という外形的事実が存在するものの、実質的な独立性及び社外取締役としての高い適格性を十分に担保し得るものと判断しており、その具体的な評価理由は以下のとおりであります。

・西村 裕二 氏の適格性評価

同氏につきましては、当社の特定大株主の代表者である泉智之氏が代表を務めるVIS Advisors, LP（及び同社が運営等を行うファンド）に対して出資を行っていることから、当社独自の独立性基準の11.（当社又は一般株主と利益相反関係が生ずるおそれがあると合理的に判断される事情が存在すると認められる者）に該当いたします。しかしながら、同氏の有するグローバルな経営コンサルタントとしての豊富な経験、ならびに事業運営および投資規律に関する深い知見等を総合的に勘案した結果、一定の利益相反のおそれは認められるものの、経営陣から独立した客観的な立場で監督・助言機能を十分に果たし得る実質的な独立性および社外取締役としての適格性を有していると判断しております。

・泉 智之 氏の適格性評価

同氏につきましては、当社独自の独立性基準の2. に定める「議決権所有割合の5%以上を名義上又は実質的に保有する株主（大株主）の役職員等」に該当するため、同基準を形式上は満たしておりません。しかしながら、同氏の有する高度な専門性や当社の中長期的な企業価値向上に対する強いコミットメント等を総合的に勘案した結果、特定大株主の関係者としての一定の利益相反のおそれは認められるものの、経営陣から独立した客観的な立場で監督機能を十分に果たし得る実質的な独立性および社外取締役としての適格性を有していると判断しております。

本臨時株主総会の開催日時および場所等の詳細につきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。

当社は、新たな視点と専門性を持つ両氏を取締役会に迎えることで、資本コストを意識した経営を実践し、中長期的な企業価値の向上に邁進してまいります。

以 上